

I	講義形式について	良い	だいたい良い	あまり良くない	良くない	未記入
1	講義の内容はわかりやすかったですか	14	10	0	0	0
2	講義は興味深かったですか	15	9	0	0	0
3	今後の実践へ役立つ内容でしたか	19	5	0	0	0
4	褥瘡の資料はわかりやすかったですか	16	7	1	0	0
5	褥瘡のスライドはわかりやすかったですか	19	5	0	0	0
6	話し方は適切でしたか	15	8	1	0	0
7	講義内容の時間配分は適切でしたか	14	8	2	0	0

II	学習の習得について	到達できた	だいたい到達できた	あまり到達できなかった	到達できなかった	未記入
8	褥瘡の定義・発生を要因を説明できる	11	13	0	0	0
9	医療関連機器圧迫創傷が起きやすい機器と予防方法などがわかる	14	10	0	0	0
10	体位別の褥瘡好発部位がわかる	20	3	0	0	1
11	褥瘡のリスクアセスメントの評価項目(ブレデン・OH・在宅版K式スケール)について説明できる	11	13	0	0	0
12	褥瘡の予防・治療に必要な栄養状態の評価について説明できる	6	13	5	0	0
13	褥瘡の予防・治療に必要な栄養状態の評価法に基づいて栄養支援が必要かどうか判断できる	6	16	2	0	0
14	褥瘡治療に必要なスキンケアを実施することができる	14	10	0	0	0

- ・栄養の講義が早すぎて分かりにくかった。資料に載っていない内容をはなしていたので興味があったが残念だった。
- ・演習の時間がもう少し長いと良かった。
- ・資料にもっとスライドを反映させていた方が見やすいと思った。
- ・実際にテープの貼り方、剥がし方を学べて今までの間違いに気付いた。今後正しい方法でできると思う。
- ・現場で使える知識をわかりやすく学べて良かった。
- ・実技指導の仕方など参考になりました。
- ・他職種の講義もあってより分かりやすかった。
- ・他施設とのケアの違いがわかり勉強になった。
- ・自分自身が指導する立場であるので、どのようにグループワークを進めたら後輩に分かりやすくなるか参考にしたいと思った。
- ・本日の学びを病棟へ持ち帰り、実践できるようにしたい。

I	講義形式について	良い	だいたい良い	あまり良くない	良くない	未記入
15	講義の内容はわかりやすかったですか	21	4	0	0	0
16	講義は興味深かったですか	24	1	0	0	0
17	今後の実践へ役立つ内容でしたか	22	3	0	0	0
18	褥瘡の資料はわかりやすかったですか	20	5	0	0	0
19	褥瘡のスライドはわかりやすかったですか	18	7	0	0	0
20	話し方は適切でしたか	18	7	0	0	0
21	講義内容の時間配分は適切でしたか	11	14	0	0	0

II	運営について	良い	だいたい良い	あまり良くない	良くない	未記入
22	開催時期は適切でしたか	18	7	0	0	0
23	時間(長さ)は適切でしたか	18	7	0	0	0
24	会場設備・設営は適切でしたか	20	5	0	0	0
25	参加者の人数は適切でしたか	21	4	0	0	0

III	学習の習得について	到達できた	だいたい到達できた	あまり到達できなかった	到達できなかった	未記入
26	褥瘡の予防・治療に必要なポジショニング(床上・車椅子)の要点を述べるができる	14	11	0	0	0
27	褥瘡の予防・治療に必要なポジショニング(床上・車椅子)を実施できる	15	10	0	0	0
28	褥瘡の予防・治療に必要な体圧分散マットレスの特徴を述べるができる	9	16	0	0	0
29	褥瘡の予防・治療に必要な体圧分散マットレスを選択できる	10	15	0	0	0
30	創傷治癒過程の要点を列挙できる	10	15	0	0	0
31	褥瘡の評価項目(DSIGN-R、NPUAP)について列挙できる	10	15	0	0	0
32	褥瘡の評価項目(DSIGN-R)を用いて点数がつけられる	5	19	1	0	0
33	褥瘡の局所治療について、創の状態に応じた治療方法(ガイドライン)を述べるができる	4	18	3	0	0
34	外用剤(壊死組織除去、感染コントロール、肉芽組織の形成など)の特徴を説明できる	4	18	3	0	0
35	外用剤の使用方法が説明できる	5	18	2	0	0
36	創傷被覆材の種類、特徴を説明できる	3	21	1	0	0
37	創傷被覆材の使用方法が説明できる	7	17	1	0	0

38	創の状態に応じた創傷被覆材・外用剤が医師の指示のもとに選択できる	4	20	1	0	0
39	長期的な創傷ケアにおける心理的配慮が個別性に応じてできる	8	17	0	0	0
40	褥瘡予防・治療において医師・看護師・理学療法士・栄養士などの職種間や、病棟と外来・病棟と在宅診療メンバーなど、連携の重要性について述べるができる	11	14	0	0	0
41	褥瘡予防・治療において連携上の留意点を述べるができる	12	13	0	0	0

- ・理学療法士の視点でのポジショニング講義を聞くことができて良かった。脊椎のねじれ、患者の目線など確認する方法を初めて知った。
- ・臨床においてすぐに実践できるような知識・技術を学ぶことができた。
- ・褥瘡や皮膚トラブルが発生しないような関わりを大事にしていきたいと思いました。
- ・講義以外に演習も多くあり、実際に体験することが重要だと感じた。
- ・グループワークも他者の考えを聞き、考えることができ参考になった。
- ・先生方もとても親切にいただきありがとうございました。
- ・OHスケールやDESING-Rなど普段使用しているが今回一から教わり意味や方法がよく理解できた。
- ・今後職場で生かしていけるよう活用したいと思った。しかしこれだけ学んでも判断が難しい事例があるので全員が周知できるまでには時間がかかると思った。
- ・現場で使える知識と技術を学ぶことができて参加して良かった。ありがとうございました。
- ・資料には書かれていない重要ポイントが話の中にあり書き留めるが追いつかなかった。このポイントも資料の中にあると良いと思います。
- ・たくさんのドレッシング材・薬はすぐに覚えられないので資料を読み返して覚えたいと思います。
- ・マットの種類についてももう少しエアーマット以外のもの、患者に合わせた適性について知りたかった。
- ・盛りだくさんの内容でしたが実際に現場で活用できることがたくさんあり非常に有意義だった。
- ・1.5日間とても充実したセミナーでした。資料がとても見やすく作られており自宅での振り返りもしやすいと思いました。
- ・講師の話し方や、スピードなど聞きやすかった。参加することができて本当に良かったと思いました。ありがとうございました。